

キリストの死の様と復活の様

聖書：ローマ 6:3-5, 5:17, ガラテヤ 3:27

- I. 「キリスト・イエスの中へとバプテスマされたわたしたちはみな、彼の死の中へとバプテスマされた」——ローマ 6:3 :
- A. バプテスマは形式や儀式ではありません。それはわたしたちとキリストとの一体化を表徴します——3 節。
 - B. バプテスマを通して、わたしたちはキリストの中へと浸され、キリストをわたしたちの領域とします。それによってわたしたちはキリストの死と復活の中で彼と結合されて一となります。
 - C. わたしたちは最初の人(I コリント 15:45, 47)であるアダムの領域の中で生まれましたが、バプテスマを通して、第二の人(I コリント 15:47)であるキリストの領域の中へと移されました(1:30, ガラテヤ 3:27)。
 - D. わたしたちはキリストの中へとバプテスマされる時、彼の死の中へとバプテスマされず——ローマ 6:3。
 - E. 彼の死はわたしたちをこの世から、また暗やみのサタンの力から分離し、わたしたちの天然の命、わたしたちの古い性質、わたしたちの自己、わたしたちの肉、さらにはわたしたちの歴史全体を終結させました。
- II. 「こういうわけで、わたしたちは彼の死の中へとバプテスマされることを通して、彼と共に葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光を通して死人の中から復活させられたように、わたしたちも命の新しさの中を歩くためです」——ローマ 6:4 :
- A. わたしたちの古い人はキリストと共に十字架につけられ(6 節)、そしてバプテスマされることを通して、わたしたちの古い人は彼と共に葬られて、死に渡されました。
 - B. 天然の領域において人はまず死んで、次に葬られます。しかしパウロの言葉は、霊の領域においてわたしたちはまず葬られ、次に死ぬことを示しています。
 - C. わたしたちは直接死ぬのではなく、バプテスマを通してキリストの死の中へと入ります。
 - D. キリストと彼の死は一です。
 - E. キリストから離れて、わたしたちは彼の死の中へとバプテスマされることは決してできませんでした。なぜなら、彼の効力ある死の要素は、彼の中に、すなわち、復活した、すべてを含む方の中にだけ見いだされるからです——参照、ヨハネ 5:29, 11:24-25, 使徒 1:22, 2:31。
 - F. ローマ第 6 章 4 節の「御父の栄光」は、神性の現れを指しています。

G. バプテスマの後、わたしたちは復活の中で新しい人になっています——ピリピ 3:10。

H. 復活は将来の状態だけではなく、現在の過程でもあります。

I. 命の新しさの中を歩くことは、今日、復活の領域の中で生活し、命の中で王として支配することを意味します——ローマ 6:4, 5:17。

J. このような生活は、わたしたちの中のアダムに属するものをすべて対処し、ついにはわたしたちが完全に造り変えられ、キリストのかたちに同形化されるに至ります——12:2, 8:29。

III. 「もしわたしたちが、彼の死の様の中で彼と結合して生長したなら、彼の復活の様の中でも彼と結合して生長するのです」——ローマ 6:5 :

A. 「彼と結合して生長した」は、有機的な結合を示しており、この結合の中で生長が起こります。それによって一方は、もう一方の命と特徴にあずかります——5 節前半。

B. キリストとの有機的な結合の中で、キリストが経過したものはすべて、わたしたちの歴史となっています。

C. 彼の死と復活は、今やわたしたちのものです。なぜなら、わたしたちは彼の中におり、彼と有機的に結合されているからです。これが接ぎ木です——11:24。

D. そのような接ぎ木は、わたしたちのすべての消極的な要素を排出し、神が創造されたわたしたちの機能を復活させ、わたしたちの機能を引き上げ、わたしたちの機能を豊かにし、わたしたちの全存在に浸透して、わたしたちを造り変えます。

E. キリストの死の様は、ローマ第 6 章 4 節で述べられているバプテスマです。キリストの復活の様は、4 節で述べられている命の新しさです。

F. 「彼の復活の様の中で」(5 節)は、将来の、客観的な復活を指しているのではなく、現在の生長の過程を指しています。

G. わたしたちはバプテスマされた時、キリストの死の様の中で彼と結合して生長しました。今や彼の死を通して、わたしたちは彼の復活の中へと生長しつつあります。

H. キリストの死の要素が、彼の中でだけ見いだされるように、キリストの復活の要素も、キリストご自身の中でだけ見いだされます。彼ご自身が復活です——ヨハネ 11:25。

I. 正しいバプテスマを経験した後、キリストの復活の様の中で、わたしたちは続けて彼の中で、また彼と結合して生長します。これが命の新しさの中を歩くことです——ローマ 6:4。

IV. 「キリストの中へとバプテスマされた者はみな」——ガラテヤ 3:27 :

A. バプテスマには四つの面があります。それは父、子、霊の御名の中へとバ

プテスマされること(マタイ 28:19)、キリストの中へとバプテスマされること(ガラテヤ 3:27)、キリストの死の中へとバプテスマされること(ローマ 6:3)、キリストのからだの中へとバプテスマされることです(1コリント 12:13)。

- B. バプテスマは、悔い改めた人々を彼らの古い状態から新しい状態へともたらし、彼らの古い命を終結させ、キリストの新しい命、またキリストの中にある新しい命をもって、彼らに新しい開始を持たせます——ローマ 8:2, 10。
- C. バプテスマには二つの面、すなわち、見える面と見えない面があります：
1. 見える面は水によるものであって、見えない面は聖霊によるものです——使徒 2:38, 41. 10:44-48。
 2. その霊による見えない面がなければ、水による見える面はむなしいです。水による見える面がなければ、その霊による見えない面は抽象的であり、実行上ものではありません。両方とも必要です。
- D. 三一の神の中へとバプテスマされることは、キリストの中へとバプテスマされることです——ガラテヤ 3:27：
1. わたしたちが神の子たちであるのは、わたしたちがキリストの中にいるからです。わたしたちがキリストの中にいるのは、わたしたちがキリストの中へとバプテスマされたからです——ローマ 8:10, 14. ガラテヤ 3:26. 4:7。
 2. キリストの中へとバプテスマされることは、キリストの中にいる道です——3:27。
 3. わたしたちはキリストの中へとバプテスマされたので、今や彼との有機的な結合を享受しています。それはわたしたちの全存在を造り変えることができます——ローマ 12:2。
 4. ガラテヤ第3章の終わりでパウロが、キリストの中へとバプテスマされて、キリストを着ることについての言葉で結んでいることは意義深いです——27節。
 5. パウロがバプテスマについての言葉で結んでいるという事実が示していることは、わたしたちがキリストの中へとバプテスマされ、キリストを着ることによってのみ、この章で取り扱われていることを経験することができるということです——27節。
 6. キリストの中へとバプテスマされた者はみな、キリストを着ました——27節。
 7. わたしたちはキリストの中へとバプテスマされたので、今やわたしたちを覆うキリストを持っています。
 8. 一方で、バプテスマにおいて、わたしたちはキリストの中へと浸し込ま

れています。もう一方で、バプテスマにおいて、わたしたちはキリストを着ています。

9. わたしたちの多くは、わたしたちがキリストの中へとバプテスマされていることと、彼をわたしたちの衣服、わたしたちのおおいとして着ていることとを、力強く証しすることができます——27 節。

©2025 Living Stream Ministry